

同盟通信社第三十回理事會議事錄

昭和十九年十二月一日午前十時五十分開會、同正午閉會

會場 東京都麹町區內幸町一丁目一番地 帝國ホテル

理事總員 參拾五名

出席理事 貳拾貳名

高石眞五郎	阿部 陽太郎	伊藤 正徳
一力次郎	原田 謙二	小 汀 利得
横溝 光隆	高田 元三郎	中 綱 義親
武藤 義雄	矢部 謙次郎	小坂 武雄
嵯峨 保二	北野 吉内	下 村 宏
久富 達夫	杉 山 榮	古 野 伊之助
島山 敏行	上 田 碩三	堀 義貴

社人團 同盟通信社

應 請 壽

委任狀

山 田 金次郎	伊 豆 富 人	萩 野 元太郎
野 中 楠 吉	山 本 實 一	古 村 精一郎
東 季 彦	坂 口 主 税	木 下 猛
末 光 正 人	松 本 重 治	光 永 眞 三

常任監事 篠 田 欽次郎

議長 理事會長 高 石 眞五郎

會議經過

阿部副會長議長席ニツキ開會ヲ宣シ日程ニ入り都合上會議順序ヲ變更第二號議案ヨリ開始ス

第二號議案 諸般ノ報告

古野社長ヨリ左記ノ通り諸般ノ報告ヲ爲セリ

(一) 總務局關係

(イ) 支局新設及廢止

前回ノ理事會後左記ノ通り新設又ハ廢止セリ

新設 サンダカン支局(北ボルネオ)

廢止 汕頭支局(南支) クイン支局(北ボルネオ)

(ロ) 廢止ノ改正

昭和十九年八月廿五日附ヲ以テ對外宣傳聯絡ヲ一層效果

社団法人 同盟通信社

的ニスルタメ編輯局外信部ヲ海外局ニ移管セリ

(ハ) 資材ノ入手難

時局急迫ニ伴ヒ各方面ノ資材ハ益々窮屈トナリ既存設備ハ漸次消耗シソノ保守改善ハ頗ル困難トナレリ特ニ寫眞電送ノ不調、國內無線同報ノ受信狀態不良等起リ勝チニテ之ガ對策ニ苦慮シツ、アリ

(ニ) 編輯局關係

(イ) 送信量ノ適否

去ル十一月一日ヨリ新聞建頁ハ週十四頁トナリタル一方戦争ノ激烈化ヲ反映シテ記事ハ益々簡略シツ、アリ從ツテ國內無線同報並ニ専用電話、豫約電話トモ一面ニ於テ内容ヲ壓縮シ又一面ニ於テ廣範圍ノ送信ニ努力シ居レルガ各社ノ要求ハ豊富ナル送信量ヲ必要トスル

向ト記事ノ減量ヲ希望スル向ト兩様アリテコノ點本社
ハ編輯上苦心ヲ拂ヒツ、アリ

(四) 空襲時ノ情報

敵ノ本土空襲ハ益々規模ヲ大ニシ且ツ頻繁トナル公算
大ナルニ付テハ本社ハ國內通信網ヲ最大限ニ動員シテ
迅速正確ナル報道ヲ名正ニ刻々供給スル一方軍並ニ内
務省防空關係機關ニ對シ空襲關係情報ノ連絡ニ盡シツ
ツアリ

(三) 海外居留關係

(イ) 外國情報ノ蒐集

現在ノ世界情勢ノ下ニ於テ外國情報ノ蒐集ハ極メテ困
難ナルガ本社ニ於テハ毎日約十二萬語ヲ受信シ之ヲ整
理編輯ノ上英文特殊情報トシテ毎日約三百頁(約八萬

法人團 同盟通信社

語)ヲ軍並ニ政府ニ配付シソノ内一部ヲ和譯シ敵性情
報トシテ關係當局ノ參考ニ資シ居レリ更ニ新聞社、放
送局ヲ通ジ外國情報ヲ一般國民ニ傳フル外「海外電報」
十六頁ヲ毎日印刷發行シテ之ヲ官民ノ指導者層ニ配付
シ有力ナル資料ヲ供給シツ、アリ

(ロ) 對外電信回報

本社ニ於テハ英語、佛語、スペイン語、華文、和文等
合計一日約六萬語ニ上ルニユースラ對外電信回報ニヨ
リ送信シ大本營發表ハ勿論ソノ他内外重要ニユースハ
悉ク之ヲ世界各國ニ浸透徹底セシメツ、アリテ同盟ニ
ユースハ盟邦タルト敵國タルト別ナク世界各國ニ於
テ日々大ナル反響ヲ呼ビ起シ世界ノ思想戰ハ今ヤ愈々
激化ノ一途ニアリ

(コ) 時高石會長出席河部副會長ニ代リ議長席ニ着ク)

(四) 聯絡局關係

(イ) 外電受信施設強化

世界情報受信施設ヲ強化スルタメ南方特定地點(昭南)
ニ海外電波受信自働中繼施設ヲ新ニ設ケ從來内地ニテ
ハ受信困難ナリシ一部外國無線電信同報ノ受信ヲ容易
ナラシムルニ成功セリ右ハ本年八月下旬施設ヲ完了九
月廿五日ヨリ實施セリ

(ロ) 文字電送機試用開始

目下試用中ノ同盟式文字電送機ハ成ルベク據カニ都下
新聞社ニ設備シ成績良好ナラバ漸次他ノ地域ニモ及ボ
シタキ心算ナリ而シテ之レガ發明ニ盡シタル本社ノ奥
地寛治郎前技術部長ハ病ヲ得テ去ル十月死去シタルガ

法人團 同盟通信社

本機ノ一段ノ改善ニ關スル設計ヲ完成シアリ

(ハ) 非常通信施設

空襲時ノ非常通信施設ニ關シテハ通信院ノ援助ヲ受ケ
報道通信ノ機能維持ニ遺憾ナキヲ期シツ、アルガ特ニ
本社地下室ニ「待避通信室」ヲ又第一相互地下室及廊
布並ニ世田谷ニ「分散通信所」ヲ設ケ室外、室内トモ
送受信ノ斷絶ヲ來サル様万全ノ手配ヲナセリ

(ニ) 中華、南方總社關係

中華各地ニハ惡性インフレーションノ浸透ヲ見、南方各
地モ亦之ニ見舞ハレントシツ、アリ此ノ秋ニ當リ中華、
南方諸地域ニ於ケル本社ノ活動ニ就テハ極力現地ノ業務
收入増加ヲ圖リ以テ支出ノ激増ニ對處セント努力シ居レ
ルモインフレーション進行ノ速度ニハ到底應ジ得ズ今後

該方面ニ於ケル我ガ社ノ機能維持ニハ重大ナル困難ヲ豫
想セラル之レガ對策ニ就キ目下考究中ナレバ現業理事ニ
一任サレタシ

内社費月額改訂

國內ニ於テモ亦物價ハ暴騰シ職員待遇改善資材購入費増
嵩其ノ他ニヨリ經營ハ著シク膨脹シツ、アリ現在ノ社費
月額基準ハ昭和十七年二月制定以來既ニ三年ニ近クトナ
リタルニ付テハ之ガ改訂ニヨリ膨脹經費ノ一部ヲ補填ノ
コト、致シタシ社長新聞社及放送協會ニ對シ改訂御依頼
スルニツキ御諒承願ヒタシ

前記各事項ニ付キ出席理事何レモ之ヲ諒承シタリ

第一號議案

定款第二十一條第一項第四號ニ依ル理事古野伊
之助、同畠山敏行ノ兩氏任期滿了ニ付之ガ改選
並ニ社長、常務理事決定ノ件

法人 同盟通信社

高石議長ヨリ右兩理事ハ本月貳拾六日ヲ以テ任期滿了トナ
ル處時恰モ年末ニ差迫リ理事會開催ニ適セザルヲ以テ今回
ノ理事會ニ於テ改選ヲ行ヒ右任期滿了ヲ俟テ改選效力ヲ發
生スルコトニ致シタシト諮リタルトコロ一力理事ノ發議ニ
ヨリ滿場一致古野、畠山兩理事トモ重任ニ決定シ更ニ定款
第二十八條ニ依ル役員

社長 古野 伊之助
常務理事 畠山 敏行

兩理事ガ夫々留任スルコトニ滿場異議ナク可決シタリ
次イデ高石會長ヨリ

(1) 定款第二十一條第一項第一號ニ依ル理事河村徹氏（台灣
新報社）六月二十八日辭任、後任理事ニ坂口主稅氏（同
社）就任、同理事高宮太平氏（京城日報社）十一月廿七

日辭任、後任理事ニ横澤光厚氏（同社）就任

(四) 定款第二十一條第一項第二號ニ依ル理事小柳調平氏（新潟日報社）九月一日死去、同理事阪口覺氏（神戸新聞社）九月四日辭任、同理事田中清文氏（北日本新聞社）十一月廿六日辭任

(五) 定款第二十一條第三號ニ依ル理事矢野眞氏（日本放送協會）同理事西郷知一氏（同協會）十一月廿七日辭任、後任理事ニ久富達夫氏（同協會）武藤義雄氏（同協會）就任

(二) 定款第二十八條ニ依ル監事遠藤柳作氏（東京新聞社）七月廿六日辭任

ノ旨ヲ報告シ尙前記(四)選舉理事三名及(一)監事一名ノ缺員ニ對スル補缺選舉ハ次ノ社長總會ニ於テ行フコト、シタキ旨

社人團 同盟通信社

ヲ諮リタル處滿場異議ナク可決セリ

以上

議長 高石眞五郎

理事 高田元三郎

理事 山本元三郎